

空き家 対策 レポート

「空き家対策における地域課題解決」のため 静岡産業大学の学生の皆さんが 研究に取り組んでいます！！

【しずおか中部連携中枢都市圏 地域課題解決事業】

大学等との交流拡大や各市町の地域課題解決のため、空き家対策室では、『大規模造成団地における空き家の活用方法の提案』をテーマに、空き家の活用方法（利活用・交流・イベント等）や空き家の維持管理方法等の提案を募集したところ、静岡産業大学の学生の皆さんがこの研究に取り組んでくれることとなりました。

空き家の問題は人口減少社会においては避けては通ることはできず、今後、更に増える空き家に対する取り組みについて、学生の皆さんの柔軟な発想力をもって研究に取り組んでいただけるものと期待しています。

今回、空き家の現状や空き家対策に取り組む皆さんの実態を把握するため、平成30年8月23日（木）、空き家対策に関心の高い藤枝第9自治会（藤岡団地）の関係役員の皆様のご案内の下、現地調査や懇談会を実施いたしました。

学生からは、藤岡団地に家を購入しようとしたきっかけや、団地造成時の自動車保有者が少なかったことによる現在ではやや狭小な道路規格や街並みなどの当時の様子についても熱心に聞き取り調査を行っていました。

情報学部学生部長の田畑和彦教授からは、市が行う助成事業の内容や地域における空き家の管理、活用について、実用性の高い取り組みを提案したいと意見をいただきました。

この研究成果については、平成30年度末に、藤枝第9自治会役員の皆様に発表をしていただく予定です。



地元役員の皆さんによる現地案内

藤岡会館での懇談会